

# 取扱説明書

Instruction Manual

## 電子天秤

1-1785-01	PFB120-3	1-1785-04	PFB2000-2
1-1785-02	PFB200-3	1-1785-05	PFB6K0.05
1-1785-03	PFB1200-2	1-1785-06	PFB6000-1

この度は本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。  
 ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
 また、お読み頂きました後も大切に保管してください。

### 外観図







### 目 次

安全にご使用いただくために.....	2	感度調整.....	7
製品概要.....	3	操作方法.....	11
梱包内容.....	3	メニュー.....	14
各部の名称.....	4	エラーメッセージ.....	16
キースイッチの概要.....	4	困ったときは.....	17
ディスプレイの概要.....	5	メンテナンスと清掃.....	18
開梱・設置方法.....	6	仕様.....	18

## 安全にご使用いただくために

この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

### 警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。
 警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。



いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

### 安全確保の図記号


	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起る可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触れると傷害が起る可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起る可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示

### <製品設置時の注意事項>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。



 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 箱を開ける際に、本体、部品を落下させ損傷しないよう注意してください。</li> <li>● 安全のため、電池の交換前に電源がオフになっていることをご確認ください。</li> </ul>

## ⚠ 注意

	<p>下記の条件を満たすところで保管して下さい。製品の劣化、故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 結露しないところ。</li> <li>● 水平で安定したところ。</li> <li>● 湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。</li> <li>● 振動のないところ。</li> <li>● 直射日光のあたらないところ。</li> <li>● 紫外線光源のないところ。</li> </ul>
--	--

### ＜操作運転時の注意事項＞

## ⚠ 警告

 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 爆発性ガスや可燃性ガス、引火性ガス、引火性液体、粉塵のある環境下では使用しないでください。</li> <li>● 屋内にてご使用ください。</li> <li>● 本器は、防水構造ではありません。屋外での測定時の雨、雲などの天候のとき、あるいはプールや厨房など水がかかりやすい場所で使用しないでください。</li> </ul>

## 製品概要

本器はバックライト付電子天秤です。風袋引き機能や個数計算機能を持っております。

## 梱包内容

購入時には、以下の品目が梱包されています。

内容	個数
ACアダプター	1
風防（PFB120-3, PFB200-3, PFB1200-2, PFB2000-2のみ）	1



開梱の際は取り扱いにご注意ください。また、発送による損傷がないかお確かめください。何らかの損傷がみられた場合は、電源をいれずに、ただちにお買い上げの販売店までご連絡ください。






## 各部名称



## キースイッチの概要



操作キー	名称	機能
	[ON/OFF]	⇒ 電源オン／オフ
	[ZERO]	⇒ ディスプレイ表示を0にします。 ⇒ メニューの項目を有効にします ⇒ メニュー「F UNIT」の時に表示単位を変更します。

操作キー	名称	機能
	[TARE]	⇒ 風袋引きします。
	[%]	⇒ %-機能呼び出し ⇒ %-モードから重量測定モードに戻ります。
	[PCS]	⇒ 個数計算モード呼び出し ⇒ 個数計算モードから重量測定モードに戻ります。
	[MODE]	⇒ 重量単位切り替え ⇒ メニュー「F UNIT」時に重量単位切り替え。重量単位をオン、オフ ⇒ 個数計算モードでサンプルの個数切り替え ⇒ メニュー項目切り替え ⇒ 読みやすさ変更
	[PRINT/ESC]	⇒ 重量測定モードに戻ります。

## ディスプレイの概要



ディスプレイ	説明	ディスプレイ	説明
	グラム		キログラム
	ゼロ		風袋引き
	表示安定		個数測定表示
	重量比較パーセント表示		許容重量表示
	Momme		調整の表示

ディスプレイ	説明	ディスプレイ	説明
0 F	バーグラフ	Weight unit display	g (グラム) (ct) カラット (oz) オンス (ozt) Fine ounce (d) Dram (dwt) Penny weight (tl.h) Tael (Taiwan) (tl.c) Tael (Chin.) (t.lt) Troy Tael (t) Tola

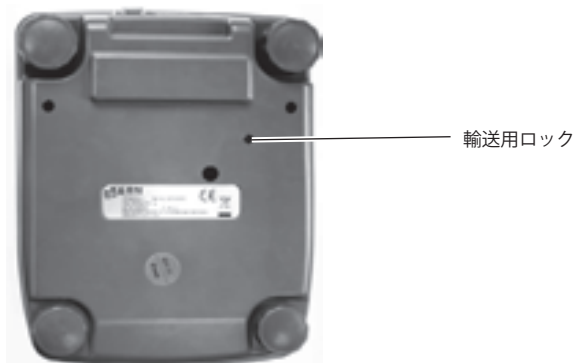
## 開梱・設置方法

### 1. 設置条件

- 1** 振動のない、水平の取れた場所に設置してください。
- 2** 温度変化の激しい場所には設置しないでください。
- 3** 直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 4** 風が直接当たる場所には設置しないでください。
- 5** 湿度の高いところ、上記やほこりのある場所には設置しないでください。
- 6** 結露しないところに設置してください。
- 7** 静電気が帯電しないようにしてください。
- 8** 電磁界や磁界を避けてください。
- 9** 平らな面を持つ丈夫なテーブル、床の上に設置してください。

### 2. 輸送用ロックの解除

下記の輸送用ロックを外してください。



3. 水平調整

- 1
- この天秤には、4箇所に水平調整足があります。上から見て時計回りに回すと水平調整足が伸びて天秤が上がり、反時計回りに回すと水平調整足が縮んで天秤が下がります。
- 2
- 水準器は、ディスプレイの左前にあります。天秤に傾きがあると、水準器の気泡が黒い円から外れた位置になります。気泡が中央に来るように調整します。

4. 皿

皿を上に乗せてください。

5. 風防

風防を取付けてください。  
※PFB120-3, 200-3, 1200-2, 2000-2のみ付属しております。

6. ウォームアップ

正しい測定を行うために電源を入れた後に2時間以上ウォームアップを行ってください。

7. 調整

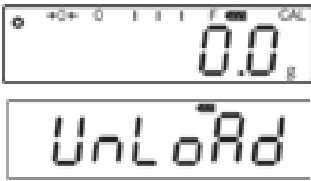


正しい測定を行うために、感度調整を行ってください。


感度調整

天秤を設置した後に、必ず感度調整を行ってください。感度調整する際には、天秤をできるだけ安定した状態にしておく必要があります。そのため、設置した後、g表示で2時間以上通電して天秤の温度を安定させてから感度調整を行ってください。また、人の出入りが少なく風や振動のない状態で行ってください。

※秤量を超えるものを測定しないでください。  
※衝撃を与えないようにしてください。

1. 調整



















ディスプレイ	操作
	⇒ 重量測定モードで  ボタンを3秒間、「UnLoAd」が表示されるまで押してください。
	「LoAd」が表示されましたら、分銅をプレート中央に置いてください。 調整は自動的に行われます。
	⇒ ディスプレイの表示が安定するまで待ちます。

ディスプレイ	操作
	「Pass」が表示されましたら、調整は順調に終了しました。 ⇒ 分銅を取り除いてください。
	重量測定モードに戻るのを待ってください。

## 2. 校正分銅表

型番	分銅1	分銅2	分銅3	分銅4
PFB120-3	30 g	60 g	90 g	120 g
PFB200-3	50 g	100 g	150 g	200 g
PFB1200-2	300 g	600 g	900 g	1200 g
PFB2000-2	500 g	1000 g	1500 g	2000 g
PFB6K0.05	1 kg	2 kg	4 kg	6 kg
PFB6000-1	2 kg	4 kg	6 kg	—






















## 3. 感度校正（PFB6000-1以外）

ディスプレイ	操作
	⇒  ボタンを押して電源を入れます。天秤が自己診断を行っている間に、  ボタンを1回押して「F1 Unt」を表示させます。
	⇒ 「tECH」が表示されるまで  ボタンを繰り返し押します。
	⇒  ボタンを押すと「Pin」が表示されます。
	⇒  ボタン、  ボタン、  ボタンを順番に押し、「P1 Lin」を表示させます。
	⇒ 再度  ボタンを押すと「Pin」が再び表示されます。
 	⇒ 順番に  ボタン、  ボタン、  ボタンを押すと「LoAd 0」が表示されます。ディスプレイの表示とシグナル音の後に「LoAd 1」が表示されます。



ディスプレイ	操作
	⇨ 分銅1を載せます。(→P8 2.校正分銅表 をご参照ください) ⇨ 表示の安定とシグナル音を待ちます。 ⇨ 「LoAd 2」が表示されます。 ⇨ 分銅1を取り除き、分銅2を載せます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音の後に「LoAd 3」が表示されます。その後、分銅2を取り除き、分銅3を載せます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音の後に「LoAd 4」が表示されます。その後、分銅3を取り除き、分銅4を載せます。
 	⇨ 分銅4を載せた後に「LoAd 0」が再び表示されます。 ⇨ 分銅4を取り除くと、「LoAd 4」が再び表示されます。 ⇨ 分銅4を再度載せます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音の後に「LoAd 3」が表示されます。 ⇨ 分銅4を取り除き、分銅3を載せてください。
	⇨ 表示の安定とシグナル音を待つと、「LoAd 2」が表示されます。 ⇨ 分銅3を取り除き、分銅2を載せます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音を待つと、「LoAd 1」が表示されます。 ⇨ 分銅2を取り除き、分銅1を載せます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音を待ちます。 ⇨ 「LoAd 0」が表示されます。
	⇨ 分銅1を取り除きます。
	⇨ 表示の安定とシグナル音の後に、本器は自己診断を行い、重量測定モードに入ります。これで感度校正は完了です。

#### 4. 感度校正 (PFB6000-1)

ディスプレイ	操作
	⇒  ボタンを押して電源を入れます。天秤が自己診断を行っている間に、  ボタンを1回押して「F1 Unt」を表示させます。
	⇒ 「tECH」が表示されるまで  ボタンを繰り返し押します。
	⇒  ボタンを押すと「Pin」が表示されます。
	⇒  ボタン、  ボタン、  ボタンを順番に押し、「PI Lin」を表示させます。
	⇒ 再度  ボタンを押すと「Pin」が再び表示されます。
 	⇒ 順番に  ボタン、  ボタン、  ボタンを押すと「LoAd 0」が表示されます。ディスプレイの表示とシグナル音の後に「LoAd 1」が表示されます。 ⇒ 分銅1を載せます。(→P8 2. 校正分銅表 をご参照ください)
	⇒ 表示の安定とシグナル音を待ちます。 ⇒ 「LoAd 2」が表示されます。 ⇒ 分銅1を取り除き、分銅2を載せます。
	⇒ 表示の安定とシグナル音の後に「LoAd 3」が表示されます。その後、分銅2を取り除き、分銅3を載せます。
	⇒ 表示の安定とシグナル音の後に、本器は自己診断を行います。この間に分銅を取り除きます。その後、重量測定モードに入ります。これで感度校正は完了です。

## 操作方法

### 1. 重量測定

表示	操作
	⇒  ボタンを押して電源を入れます。 天秤は自己診断を行います。 「0.0」が表示されるのを待ちます。
	⇒ 皿に何も載せていない状態で「0.0」が表示されない時は ボタンを押してください。 本器は「0」にリセットされます。
	⇒ 重量を測るためにサンプルを本器の皿に載せます。 [●]が表示され安定するまで待ちます。 重量の結果を読取ります。
	⇒ 電源を切るために  ボタンを短く押します。














### 2. 風袋引き

ディスプレイ	操作
	⇒ 容器を置きます。 容器の重量が表示されます。
	⇒  ボタンを押し、ゼロを表示させます。 →T← が表示されます。 容器の重量が本器内部で保存されます。
	⇒ 秤量皿に計量するサンプルを載せます。 サンプルの実重量が表示されます。
	⇒ 容器を取り除くと、容器の重量がマイナスで表示されます。
	⇒ 容器重量は削除するまで保存されます。天秤から重さを取り除き、 ボタンを押します。ゼロがディスプレイに表示され、 →T← が消え、→0← が再び表示されます。














### 3. 個数計算

**⚠ 注意** 取扱いを誤ると、人身事故・製品の破損の原因となることがあります。



- 参照量が多いほど正確さは増します。

ディスプレイ	操作
	⇒  ボタンを押し、電源を入れます。 本器は自己診断を行います。 「0.0」が表示されるのを待ちます。
	⇒  ボタンを押します。 「10」が表示されます。こちらは測定するサンプルの数量を表しています。.
	⇒  ボタンを何回か押すと、10, 20, 50, 100, 200に設定できます。
	⇒ 重量を測定するために設定したサンプルの数量を載せてください。 ⇒  ボタンを押して確定してください。
 (Example)	個数計算モードの時、秤量皿の上の全てのサンプルの個数を測定します。
	⇒  ボタンを押します。 重量測定モードに移り、個数計算したサンプルの重量を表示します。
	⇒ サンプルを除きます。 ⇒  ボタンを再度押すと重量測定モードに戻ります。









#### 4. 加算機能

ディスプレイ	操作
	 ボタンを押して電源を入れます。本器は自己診断を行います。自己診断を行っている間に  ボタンを1回押すと、「F1 Unt」が表示されます。
	⇒ 「F4 ACC」が表示されるまで  ボタンを繰り返し押します。
	⇒  ボタンを押すと、「ACC OFF」が表示されます。
 	⇒ 「ACC on」を表示するために  ボタンを押します。 ⇒  ボタンを押し、重量測定モードに戻るために  ボタンを押します。
 (Example)	最初のサンプルを置きます。 最初のサンプルの重量が表示されます。 ⇒  ボタンを押します。
	「ACC 1」が短く表示されます。それからもう一度最初のサンプルの重量が表示されます。
 (Example)	⇒ 最初のサンプルを取り除きます。 ⇒ 2番目のサンプルを置きます。 2番目のサンプルの重さが表示されます。 ⇒  ボタンを押します。
 	「ACC 2」が短く表示されます。 2番目の測定結果が表示される前に2秒間、両方のサンプルの重量が表示されます。
上のように表示されます。サンプルの数が増えても上記と同じ手順を行ってください。	
それらのサンプルの合計重量を表示するために秤量皿からサンプルを取り除きます。ゼロが表示されるのを待って、  ボタンを押します。重量測定回数と合計重量が短く表示されます。	


**⚠ 注意** 取扱いを誤ると、人身事故・製品の破損の原因となることがあります。




- 保存された値を削除するために、 ボタンを押し、サンプル重量の合計を表示させ、表示している間に  ボタンを押し、「0.0 g」に戻します。

## 5. 重量比較パーセント




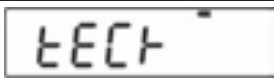




ディスプレイ	操作
	⇒  ボタンを押して電源を入れます。 本器は自己診断を行います。 「0.0 g」が表示されるのを待ちます。
	⇒ 比較する重量物を秤量皿に置いてください。これが100%に相当します。
	⇒  ボタンを押します。 「100.00%」が表示されます。
	⇒ 比較する重量物を取り除きます。 「0.0 %」が表示されます。
	⇒ サンプルを載せます。
	比較重量物に対するサンプルのパーセンテージが表示されます。
	⇒  ボタンを再度押すと、重量測定モードに戻ります。

## メニュー









本器の電源を入れて、本器が自己診断を行っている間に  ボタンを押してメニュー画面を呼び出します。ディスプレイに「F1 UNT」が表示されます。


キースイッチ	メニュー方向	説明
	↓	メニュー項目を切り替えます。
	→	メニュー項目を選択します。
	↑	メニュー項目から重量測定モードに戻ります。

## 1. メニュー概要

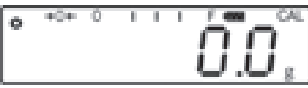





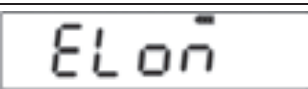



ディスプレイ	操作
	重量単位を選択します。
	バックライトのオン/オフ/自動 ● EL on: バックライトが入ります。 ● EL Au: バックライトが自動になります。 ● EL off: バックライトを切ります。
	加算機能 (詳しくは→P12 4. 加算機能 をご確認ください) ⇨ ACC of: 加算機能 無効 ⇨ ACC on: 加算機能 有効
	<div>  ボタンを押してください。「Pin」が表示されます。            順に  ボタン、 ボタン、 ボタンを押すと「P1 Lin」が表示されます。            P1 Lin 感度校正 (感度調整→P8 3. 感度校正 をご確認ください)            P2 CAL            P3 Cont            P4 AZn            P5 GrA            P6 CAP            こちらは使用できません。         </div>

## 2. 重量単位の切り替え


ディスプレイ	操作
	⇨  ボタンを押して電源を入れます。 自己診断を行っている間に  ボタンを押します。
	「F1 Unt」が表示されます。
	⇨  ボタンを押します。 重量単位を切り替えます。 ⇨ 重量単位の切り替えを行うために  ボタンを押します。 ⇨ 次の単位に切り替えるために  ボタンを押します。

重量測定モード時に  ボタンを押して、単位を切り替えることができます。

### 3. バックライト設定

ディスプレイ	操作
	⇒  ボタンを押して、本器の電源を入れます。  本器が自己診断を行っている間に  ボタンを押します。
	「F1 Unt」が表示されます。
	⇒  ボタンを押します。 「F2 bL」が表示されます。
 (Example)	⇒  ボタンを押します。 「EL on」もしくは「EL off」「EL AU」が表示されます。機能は下記をご参照ください。 ⇒  ボタンを押して3つのセッティングの中で切り替えます。 ⇒  ボタンを押してディスプレイのセッティングを立ち上げます。

ディスプレイ	調整	機能
„EL on “	バックライトをオンします	暗闇の中で赤く光ります。
„EL off “	バックライトをオフします	電力消費を抑えます。
„EL AU “	測定値が安定後、10秒後に自動でバックライトが切れます。	電力消費を抑えます。

エラーメッセージ		
Err 3	間違った重量調整	正しい分銅を載せてください。(感度調整→P8 2. 校正分銅表をご参照ください)
Err 4	ゼロの範囲を超えている	重量物を取り除き、  ボタンを押して本器をリセットしてください。
Err 5	キーボードエラー	誤った入力をしています
Err 6	電氣的エラー	電源を切って、電源を再度入れてください。エラーメッセージがそれでも表示されましたら販売店にご連絡してください。
Err 19	ゼロ点が正しくない	電源を切って、電源を再度入れてください。エラーメッセージがそれでも表示されましたら販売店にご連絡してください。



## 困ったときは

エラーが生じた場合は、少しの間電源を切り、電源ケーブルを外した後、再度電源ケーブルを差し込み、電源を入れてください。

以下に示すようなトラブルが発生した場合の原因として次のような事項が考えられますので、対策欄を参考にして、操作、対処をお願いします。

トラブル	原因	対策
ディスプレイが光らない。	天秤の電源が入っていない。	電源を入れてください。
	電源ケーブルが正しく差し込まれていない。	電源ケーブルを正しく差し込んでください。
	電池が正しく差し込まれていない。	電池を正しく差し込んでください。
	電池が切れている。	電池を交換してください。
表示重量が変わり続ける。	通風による影響	通風をなくすか、通風の影響を受けない所に設置してください。
	作業台や床の振動の影響	振動をなくすか、振動のない所に設置してください。
	秤量皿が異物に接触している	異物を取り除いてください。
	電磁界や静電気の影響	電磁界や静電気の影響を受けない所に設置してください。
測定結果が明らかに間違っている	ゼロが正しく取られていない。	ゼロを正しく取ってください。
	調整が正しく行われていない。	調整を正しく行ってください。
	大きな温度変化	温度変化をなくすか、温度変化のない所に設置してください。
	ウォームアップが十分に行われていない	ウォームアップを十分に行ってください。
	電磁界や静電気の影響	電磁界や静電気の影響を受けない所に設置してください。

## メンテナンスと清掃

**⚠ 注意** 取扱いを誤ると、人身事故・製品の破損の原因となることがあります。

- お手入れの際は、電源を切って、行なってください。
- 清掃する場合は、直接水をかけたりしますと漏電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。
- 残ったサンプルや粉は丁寧に取り除いてください。
- こぼしたサンプルは早急に拭き取ってください。
- 有機溶剤、クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

修理・点検：ご使用中、異常状態が発生したり、あるいは点検により修理が必要となった場合は取扱店にご相談下さい。弊社保証規定により対応させていただきます。

## 仕様

型式	PFB120-3	PFB200-3	PFB1200-2
秤量	120g	200g	1200g
最小表示	0.001g	0.001g	0.01g
直線性	±0.003g	±0.003g	±0.03g
最小秤量（個数計算時）	2mg	2mg	20mg
比較量（個数計算時）	10, 20, 50, 100, 200		
重量単位	g, ct, lb, oz, d, ozt, dwt, mo, tl h, tl c, tl t, t, bt, n		
推奨分銅	100g	200g	1000g
ウォームアップ時間	2時間		
安定時間	3秒		
使用環境	温度：5～35℃、湿度：80%以下		
サイズ（本体）	200×257×152mm（風防含む） 200×257×87mm（風防含まず）		
サイズ（風防）	158×143×64mm（内寸） 167×154×80mm（外寸）		
サイズ（皿）	φ80mm		φ120mm
重量	2kg		
電源	100V / 50/60Hz		

Made in China

型式	PFB2000-2	PFB6000-1	PFB6K0.05
秤量	2000g	6000g	6000g
最小表示	0.01g	0.1g	0.05g
直線性	±0.03g	±0.3g	±0.15g
最小秤量（個数計算時）	20mg	200mg	200mg
比較数量（個数計算時）	10, 20, 50, 100, 200		
重量単位	g, ct, lb, oz, d, ozt, dwt, mo, tl h, tl c, tl t, t, bt, n		
推奨分銅	2000g	5000g	5000g
ウォームアップ時間	2時間		
安定時間	3秒		
使用環境	温度：5～35℃、湿度：80%以下		
サイズ（本体）	200×257× 152mm（風防含む） 200×257×87mm （風防含まず）	200×260×87mm	200×257×87mm
サイズ（風防）	158×143×64mm （内寸） 167×154×80mm （外寸）	—	
サイズ（皿）	φ120mm	155×145mm	
重量	2kg		
電源	100V / 50/60Hz		

Made in China

### 保証規定

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
- ・誤使用、不当な修理・改造による故障。
  - ・本品納入後の移動や輸送或いは落下等による故障。
  - ・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
  - ・接続している他の機器が原因による故障。
  - ・車両・船舶等での使用による故障。
  - ・消耗部品、付属部品の交換。
  - ・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

### 保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に左記保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の節は左記保証規定により修理いたします。

品 名	電子天秤
型 式	PFB120-3, 200-3, 1200-2, 2000-2, 6K0.05, 6000-1
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お 名 前	様
ご 住 所	TEL.
取り扱い店名	担当者印
住 所	TEL.

### 商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

受付時間：午前9時～午後5時30分まで

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用いただけません。

 0120-700-875 (フリーダイヤル)

 0120-700-763 (フリーダイヤル)

 <http://help.as-1.co.jp/q>

 **アズワン株式会社**